

42729

教科書文庫

4
290.
31-1904
01304
49290

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

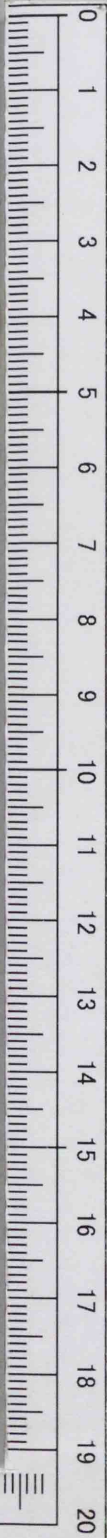
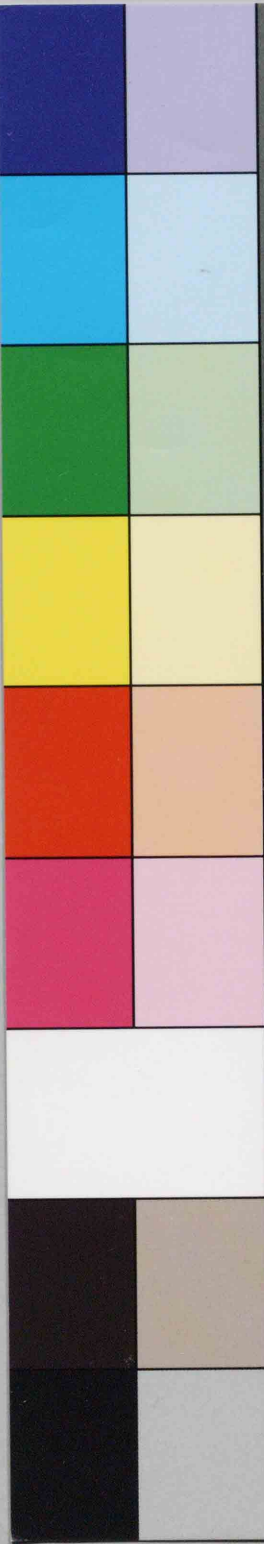
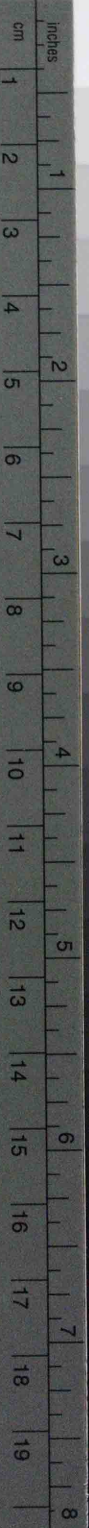


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



375.9  
Mo14  
資料室

部省著作

小學地理 四

發行所 日本書籍株式會社



資料室  
中央図書館

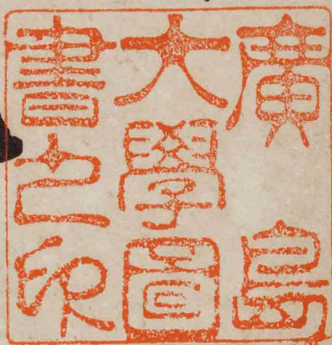
395.9  
M014



發行所

日本書籍株式會社

文部省著作  
小學地理  
四



Small, faint bleed-through text from the reverse side of the book cover, including the title '小學地理' and the number '四'.

広島大学図書

0130449290





目録

第一	總論	一
第二	山脈 火山 附 地震 溫泉	三
第三	河流 湖沼	十一
第四	海岸	十五
第五	海流 附 潮汐	十七
第六	氣候	二十一
第七	生物	二十九
第八	人種 人口 附 言語	三十四
第九	政治 附 兵備	四十三
第十	教育 宗教	五十一
第十一	産業	五十六
第十二	商業	六十五
第十三	交通	六十九

小學地理四

第一 總論

地球の表面

陸地の高低

海洋の深淺

地球の表面は、水陸の兩界より成り、空氣をもつて、これを包む陸地の面積は、およそ九百萬方里あり、海洋の面積は、およそその三倍に達す。陸地の表面は、各地、大いに、その趣を異にし、南部アジヤなるヒマラヤ山頂、海面上二萬九千尺の高所より、エルサレムの近傍なる死海の水面、海面下千三百尺の低所に至るまで、その高低、常に一樣ならず。海底は、陸地の表面と異にして、その高低の變化、急激ならざれども、なほ、いたる所、深淺の差あり。ニージーランドの東北、北海道の東南などには、深さ三萬尺内外に達する深所あり、大洋の中央にも、ま

水陸の分布

氣界の現象

生物と天然との關係

人類と外界との關係

た、淺所の廣くあひ連る所あるなり。地球の表面における、この水陸兩界の分布は、たがひにいりまじりて、廣きは大陸、大洋となり、狹きは島嶼、湖、海となり、その他、半島、岬、灣等種々の形狀をあらはせり。これに加ふるに、地球の表面に對しては、たがはける氣界の現象は、また、すこぶる複雑にして、氣温の寒暖、雨、雪の多少等、その變化、常にきはまりなし。従つて、その間に生育する生物は、いづれも、天然の變化に適應して、おのゝその種類、形狀を異にし、おのづから、各地特有のものを生ずるに至れり。これと同じく、人類と外界との間にも、また、密接の關係あり。國の文野、強弱より、政治、産業、風俗、習慣、言語等に至るまで、みな、外界の影響を受けて、その間に、大いなる差別を生ずるなり。

されば、これより、さらに進みて、天然と人事と、たがひにあひ關するところに注意し、地球の表面と人類の生活との状態につき、まともりたる知識を興へ、かねて、本邦國勢の大要につきて、補習するところあらしめんとす。

### 第二 山脈 火山附地震、温泉

地球の形成

地球は、もと、非常に熱き火球なりしが、しだいに冷えて、その表面に地殻を造り、つひに、現今の有様となれるものなり。その冷ゆるや、しだいに縮りて、やうやく、地殻に皺を生ず。その高まりたる所を山といふ。されば、山は、孤立せずして、長くあひ連るを常とす。ゆゑに、山脈の名あり。その皺のある所、おの

火山

山脈形状の變化

づから、地殻に弱所を生じ、地球内部の熔岩マグマ、これを破り、地上に迸り出でて山をなすことあり。これを火山といふ。これがために、山脈の形状けいじやうに、大いなる變化を與ふることあり。これに加ふるに、外界より、雨、風などの、これ等の山脈に對して、たえずはたらける結果は、過去、無數の歲月の間に、よく、峯を削り、谷をうがち、つひに、山岳あひ重れるが如き有様をなすに至れり。

わが國の山脈

本州四國九州の山脈

わが國は、本州中部において、幅も、とも廣く、土地も、とも高く、大いなる山脈、多く、こゝにあひ集りて、中には、一萬尺内外に及べる高峯のそびゆるもの少からず。御岳、乗鞍岳、赤石山などは、その著しきものなり。これより、西に向ひて、二條の並行せる山脈あり。一は、中國の中央を東西に走り、二は、紀伊半島

本州四國九州三大島の形成

北海道本島の山脈

臺灣の山脈  
千島琉球の二列島

より、四國を経て、九州にいたる。また、東北に向ひて、三條の並行せる山脈あり。一は、奥羽の中央を過ぎて、本州の北端に達し、一はその西を走り、一はその東にわたる。この三條の山脈は、その間に、所々に平野ありて、土地、たがひにあひ連り、ともに、奥羽地方一帶の陸をなせども、中國、四國の兩山脈の間は、土地低く、水面以下に没する所ありて、瀬戸内海をなす。内海の水、三方より外海に通じて、四國と九州との二大島を本州より分離せしむ。北海道本島には、北端より、南端にわたりて、山脈、縦に走り、横にわたれる山脈、これに交りて、ほほ、十字形をなす。臺灣には、島の形に従ひ、南北にわたれる山脈ありて、わが國第一の高山なる新高山、その中にそびゆ。また、千島、琉球の二列島は、海底を走れる山脈の、その頂を海面上にあら

はせるものなり。これ等の山脈は、みなわが國の地體の骨組たるものなれば、その方向に従ひて、わが國の地形、おのづから定まれり。

アジヤの山脈

アジヤにありては、バミル高原を中心として、山脈、四方に走れり。東南には、世界最高のヒマラヤ山脈ありて、その最高峯は二萬九千尺に及び、東には、崑崙山脈、東北には、天山々脈、西南には、ホンヅークシ山脈あり。天山々脈は、アルタイ山脈に連り、その脈、つひに、ベールینگ海峡に終る。ヨーロッパにありては、アルプ山脈を最高とし、東の方、カルパチヤ、バルカン等の山脈に連り、南の方、アベニン山脈に連る。また、西南部にピレネー山脈、北部にスカンヂナビヤ山脈、東境にウラル山脈あり。

ヨーロッパの山脈

南北アメリカの山脈

南北アメリカのおもなる山脈は、ロッキーとアンデスとにして、いづれも、大陸の西岸に沿ひ、世界最長の山脈をなせり。東岸を走れる山脈は、西岸におけるもの、如く著しからず。アフリカにありては、山脈、海岸に沿ひて、あひ連り、ほとんど、大陸を一周せり。中にも、西北部なるアトラス山脈、もとも著し。

オーストラリアの山脈

オーストラリアには、東岸に沿ひて、やゝ著しき山脈あれども、その最高峯も、わづかに、七千餘尺に過ぎず。これに反して、バプア、ニューギランド等の諸島には、高山多し。

火山

火山は、地中より迸り出でたる熔岩などの、しだいに積み重りて成りしものなれば、通例孤立して、その形、圓錐狀をなし、頂上に火口を有し、麓に、長く、裾野をひけり。

わが國の火山

わが國には、火山はなほだ多く、すでに、世に知られたるもの二百以上に達せり。それ等の中には、淺間山、阿蘇山などの如く、現に、火口より、盛に、水蒸氣、その他のがすを、煙の如く噴出するあり。あるひは、富士山、マカリ岳などの如く、現に、その作用を休止せるあり。また、中には、年を経ること久しく、山の形、著しく變化し、わづかに、岩石の性質などを見て、なほ、その火山たるを知るを得べきものもあり。富士山の東南にそびゆる愛鷹山の如きは、その例なり。

火山脈

火山は、地殻の弱所に沿ひて、噴出したるものなれば、數多の火山列をなして、そびゆるを常とす。ゆゑに、火山脈の稱あり。伊豆七島より、箱根山、富士山、八岳などを連ぬる富士火山脈の如きは、ことに著しきものなり。富士山は、その形、もともよく

太平洋方面の火山

く整ひ、火山の形状の標本と稱せらる。この外にも、わが國には、火山脈多く、霧島山、開聞岳など、九州南部の諸火山より、琉球、臺灣に連るもの、淺間、日光、那須等の諸山を経て、奥羽の中央を過ぐるもの、ロシアのカムチャッカ半島より來りて、千島列島を過ぐるもの、如きは、いづれも著し。

大西洋方面の火山

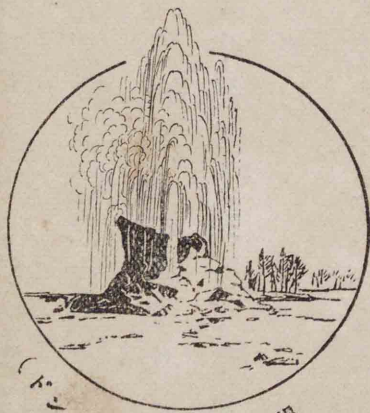
ひとり、わが國のみならず、すべて、太平洋岸に沿へる地方は、いづれも、火山に富めり。ロッキー山脈、アンデス山脈には、いづれも、名高き火山多く、フィリピン、ジャバ、ニュージールランド等の諸島、また、火山に富みて、火山脈は、ほとんど、太平洋を一周するの趣あり。洋中の諸島、また、火山より成れるもの多く、ハワイの如きは、もとも著し。大西洋の方面にも、また、アイスランドを始として、西印度諸島などに、名高き火山多く、地中海岸の

アフリカの火山

ベスピアス、エトナの如きは、古來、ことに有名なり。アフリカにては、東部の山脈中に火山多く、キリマヌデヤロの如きは、ことに名あり。

温泉の分布

温泉とは、地熱のために暖められたる水の、地上に涌き出づるものをいふ。わが國の如く、火山多き所には、その數はなはだ多く、中にも、伊香保、箱根、熱海、山中、有馬、道後、別府等は、ことに名あり。温泉の中には、熱海の如く、時期を定めて、水蒸氣、熱湯を噴出するものあり。これを間歇温泉といふ。その、アイスランドにあるもの、如きは、高く熱湯を噴き上げて、すこぶる壯觀なり。



(アイスランド) 間歇温泉

間歇温泉

地震

地震は、火山の活動、または、地すべりに伴ひて起るを常とす。地すべりとは、地殻に、割れ目を生じ、地殻の一部、これに沿ひて、すべるをいふ。これに基ける地震は、その數多く、中には、すこぶる劇烈にして、廣く、その災害を及ぼすものあり。世界において、もとも、地震の多きは、太平洋、ならびに、地中海の沿海地方等にして、わが國の如きは、ことに著し。

地震の多き地方

### 第三 河流 湖沼

河流

河流は、その源を高所に發し、ゆくゆく、四近の水を合せ、低所に向ひて、つひに、海に入るを常とす。その流るゝや、絶えず、兩岸と河底とを侵蝕して、砂礫、泥土となし、これを下流に運び、至る所に沈積す。通例、河の附近、ならびに、河口に、平野の連



世界のおもなる河流

れるは、この沈積の作用に基けること少からざるなり。世界における、もとも長き河流は、ミシシッピ河にして、その長さ、わが信濃川の十六倍に餘れり。ナイル河、アマゾン河、揚子江、黒龍江、コンゴ河、黄河等、また、いづれも、一千里以上の長流なり。その他、ガンガ、チギリス、ユーフラト、ダニープ、ライン等の河流は、いづれも有名なり。

わが國の河流

わが國は、その地形細長きが上に、山脈、中央に連りたれば、もとより、大陸に見るが如き大なる河流なく、通例、急流をなして、舟航の便を缺くもの多し。されど、その水力を利用して、機械運轉の原動力となすべきもの少からず。川のも、とも長きは、信濃、石狩の二川にして、いづれも、百里に近し。その他、北上、阿武隈、利根、木曾、淀、吉野、筑後等の諸川は、みな有名なり。

平野と住民

河流は、おほむね、灌漑、運輸の便に富み、その附近の平野は、地味、多くは、肥沃にして、農業、牧畜業等を起すに適するを常とす。されば、人類は、居を選びて、まづ、この地に集り、つひには、商業の盛なる都會起りて、政治、學術、宗教、交通の中心ともなるなり。ロンドン(人口四百六十萬)、パリ(二百七十萬)、ベルリン(百九十萬)、ウイーン(百七十萬)、モスコ(百十萬)、カルカッタ(百十萬)、漢口(八十萬)など、世界の都會は、多くは、みな然り。わが國にありても、東京(百七十萬)、大坂(五十萬)、京都(三十萬)、名古屋(二十萬)、廣島(十二萬)などを始として、各地の繁盛なる都會は、また、たいてい、河流に沿へる平野の中にあるなり。

平野と都會

湖沼

湖沼は、河流と同じく、たいてい、交通、灌漑の便あり。また、水産等の利ありて、人生に關するところ多し。従つて、その附近に、盛

鹹湖

なる都邑の起ること少からず。中にも、シカゴ(十萬七)の如きは、もとも著しく、わが大津、松江の如き、また、この例なり。

湖沼の中には、出口なくして、その水塩分を含めるものあり。これを鹹湖といふ。世界第一の大湖なる裏海は、その一にして、面積、わが國よりやゝ大なり。また、死海の如きは、その水、ことに塩分に富みて、魚類等、これがために、生を保つを得ざるなり。淡水湖には、スベリオル湖、もとも大にして、面積、わが北海道本島に近く、ビクトリヤ、ヒーロン、ミシガン、バイカル等の諸湖、これにつぐ。

淡水湖

わが國の湖沼

わが國第一の大湖なる琵琶湖は、その面積四十餘方里あり。霞浦、八郎潟、猪苗代湖、瀛名湖、宍道湖、印旛沼、十和田湖、諏訪湖など、いづれも大なり。その他、北海道にも、大なるもの多し。ま

た、山間には、蘆湖、中禪寺湖、山中湖等の如く、ことに、風景に富めるものは、なほだ多く、その中には、火山の舊火口に生じたるものも少からず。

第四 海岸

海岸線の變動

陸地と海洋との境界線を海岸線といふ。海岸線は、常に一定不變のものにあらず。河流、風、波等の作用によりて、海岸を侵蝕し、あるひは、こゝに、新地を造ることあり。また、時に急激なる隆起、陷没の作用により、あるひは、緩漫なる土地の昇降によりて、海岸線に變動を來すことあり。關東、濃尾、大坂等の諸平野の形成は、泥砂の沈積作用によるものあれども、緩漫なる隆起に基くこと、また、はなほだ多し。

海岸線と交通との關係

交通と文明との關係

各大陸の海岸

海岸と都會

海岸には、砂濱（しやべん）の長く連れるあり、絶壁（つたべき）の高くそばだてるありて、その状、一樣ならざれども、概して、海岸線の屈曲（くつこく）して、出入に富める所は、おのづから、海陸運輸の連絡（たんろく）を容易ならしめ、交通上の便宜（べんい）多きものなり。従て、その住民は、種々の事物に接して、おのづから、知識を増進し、分業も、また、その間に、行はれやすきがゆゑに、國の文明を進むるに、大いなる利益あり。

世界の六大陸中、海岸の出入のものとも多きは、ヨーロッパにして、北アメリカこれに次ぎ、アフリカはもとも少し。ヨーロッパの、著しく、文明に赴きたるに反し、アフリカの大部分が、なほ、野蠻の域にあるが如きは、その原因、一はこれによる。

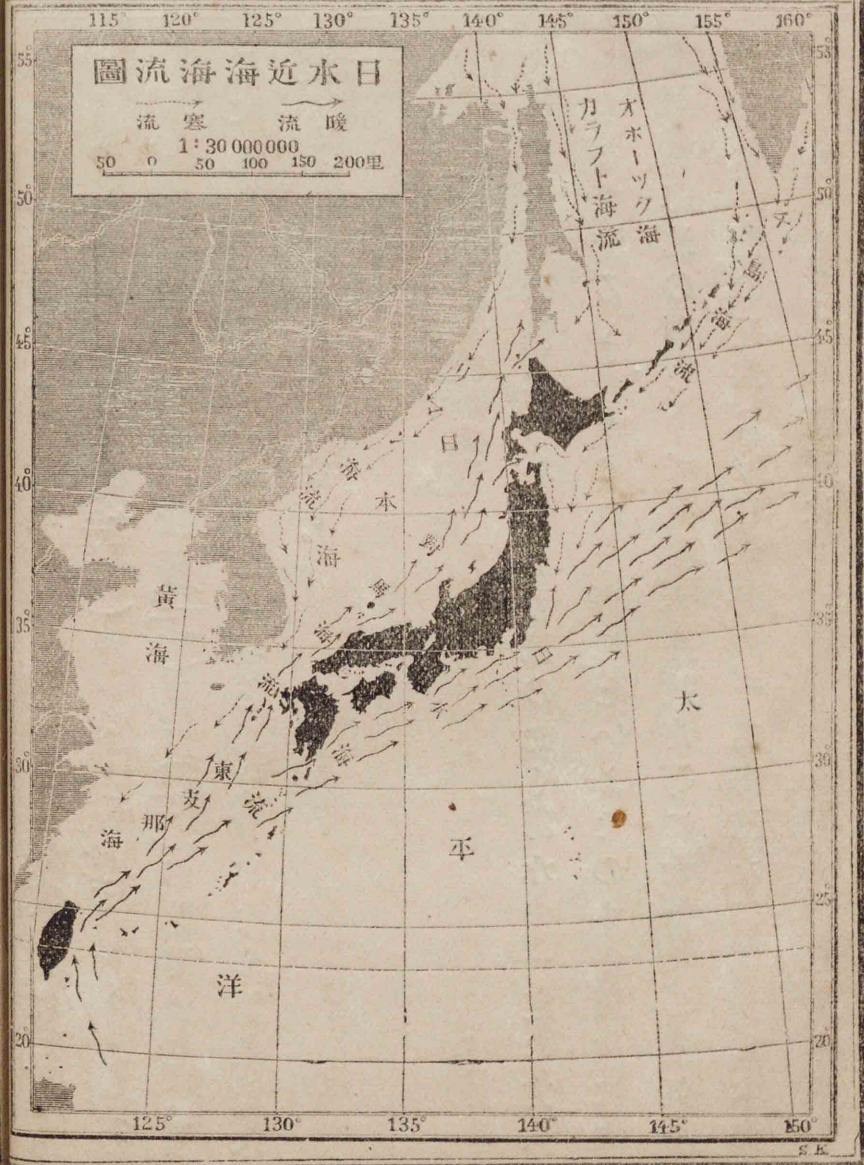
海陸の連絡にも、とも便利なる海岸には、船舶、常に輻湊（ふくそう）して、

おのづから、貨物の集散地となり、こゝに、繁榮なる都會の起るを常とす。ニューヨーク（三百五十萬）、ボンベイ（八十萬）、マルセイユ（五十萬）の如き、みな然り。わが横濱（三十萬）、神戸（二十萬）が、開港後、急に、繁榮に赴き、長崎（十五萬）が、古來、開港場として、常に、その繁榮を失はざるは、これがためなり。

### 第五 海流（かいりゅう）附潮汐（しほしほ）

海洋には、なほ、陸上における河流の如く、海水の、一定の方向を取りて、流るゝあり。これを海流といふ。その水の温度により、暖流、寒流の別ありて、氣候、水産、航海等に、大いなる關係を有す。わが國の近海には、日本海流、千島海流などあり。日本海流は、もとも著しき暖流にして、フィリピン群島の東より、北に

日本海流



對馬海流

向ひ、わが國の太平洋岸に沿ひて、東北に方向を取り、つひに遠く、北アメリカの西岸に達す。その水、わが國の近海にて、ことに、濃き藍色を帶ぶるがゆゑに、一に黒潮といふ。その支流に對馬海流あり、九州の西岸より、日本海に入り、つひに、北海道の西岸に及ぶ。わが日本海方面の割合に寒からざるは、一は、これがためなり。

千島海流

千島海流は、寒流にして、一に親潮の名あり。カムチャッカ半島の近海より、千島に沿ひて、西南に向ひ、さらに、北海道本島の南岸より、奥羽の東岸に沿ひて、金華山の沖にいたる。この他、寒流には、オホーツク海の北部を西流し、カラフト島にいたりて、カラフト、リマンの兩海流に分るゝものあり。

メキシコ灣流

世界において、日本海流とゝもに、もとも著しき暖流をメキ

潮汐

シヨ灣流となす。この海流は、メキシコ灣より出て、大西洋を横ぎりて、ヨーロッパの西北岸に達す。西北ヨーロッパの諸國が、北にかたよれる割合に、その氣候の溫和なるは、この暖流の影響によるなり。

海水の運動には、海流の外に、また、潮汐の、一定の時間を隔てて、進退するあり。潮汐は、月に深き關係あるものにて、新月と満月との頃に、ことに、その干満の著しきを見る。されど、潮汐干満の差は、海陸の位置、海底の深淺等によりて、一樣ならず。わが國にては、有明海において、も、とも著しく、日本海岸には、おほむね、その差多からず。

潮流

潮汐のために、海峽に海水の流を生ずることあり。これを潮流といふ。わが瀬戸内海、の口をなせる鳴門、下關等の海峽に

は、ことに、その著しくあらはるゝを見る。

氣象

第六 氣候

空氣の溫度、風、雨等の現象を氣象といふ。氣象は、場所により、時に従ひて、その趣を異にし、日々、その變化、すこぶる多きを常とす。されど、月を積み、年を重ねて、これを觀測し、これを平均するときは、各地において、各時季に應じて、ほぼ一定したる空氣の溫度、雨量、風向等を知るを得べし。これ、すなはち、その地の氣候なり。

氣象と氣候

緯度と氣溫との關係

空氣の溫度は、おもに、太陽の熱に基くものにして、兩極地方より、赤道地方に進むに従ひ、しだいに、溫度の増加するを常とす。こゝにおいて、地球上に、緯度の高低によりて、寒帶、溫帶、

土地の高低  
と氣温との  
關係

風

熱帯の別あり。されど、氣温は、必ずしも、同緯度の地、常に同様なるものにあらず。土地の高低、また、大いにこれに影響し、低きより高きに上るに従ひて、氣温の、しだいに減少するを見るべし。されば、富士山に登るものは、盛夏の頃、なほ、綿入を用意し、赤道地方にても、キリマヌジ、ロ山の如き高山の頂上には、年中、常に白雪を戴くなり。その外、水陸の分布、海流、風向等の氣温に影響すること、また、少からざるなり。風とは、空氣の流動する現象をいふ。空氣は、常に、温度の低き所より、高き所に向ひて、流るゝこと、あたかも、水の、高きより、低きに向ひて、流るゝが如きものなり。されば、風は、兩極の地方より、赤道の地方に向ひて、進むを常とす。されど、地球の表面には、また、これを妨ぐる種々の原因あるがゆゑに、必ずし

貿易風

も、各地、一樣なる能はず。ただ、赤道の南北三十度以内の海洋において、その、著しくあらはるゝを見る。これを貿易風といふ。この風は、地球の自轉のために、その方向を變ぜられ、北半球にありては、東北貿易風となり、南半球にありては、東南貿易風となるなり。

季候風

また、陸地は、海洋に比して、熱に感ずること早く、また、冷ゆることも早くして、寒熱の差多きものなれば、夏は、風、大洋より大陸に向ひ、冬は、風、大陸より、大洋に向ふを常とす。これを季候風といふ。わが國には、冬季に、西北風多く、夏季に、東南風多し。これ、冬季には、アジア大陸の内地より、太平洋に向ひて、空氣の流れ出づるに基き、夏季には、これに反して、太平洋より、大陸の内地に、空氣の流れ入るに基くなり。印度地方に、夏季、

海陸風

西南の季候風生じ、冬季、東北の季候風起るも、また、同じ理なり。

海洋性氣候

大陸性氣候

わが國の氣溫

また、沿海の地方には、一日の中に、風向の異なる海陸風ありて、晝は、海より陸に向ひ、夜は、陸より海に向ふ。これがために、大いに、氣溫を調和し、沿海の地方は、寒暑の差、割合には、なほ、だしからざるを常とす。かゝる氣候を、海洋性氣候といひ、これに反するを、大陸性氣候といふ。  
わが國は、冬季、大陸より來れる寒冷なる季候風を受くれども、大體において、その氣候は、海洋性にして、寒暑の差、割合に少し。臺灣の南部は、最熱の地方と稱すれども、一年中の平均溫度、攝氏の二十五度を上らず、最高の八月中の平均も、二十八度に達したることなし。また、最寒の地なる北海道の旭川、

世界最熱の地

世界最寒の地

釧路の如きも、なほ、年中の平均、五度内外にして、最低の一月中の平均も、氷點以下十度内外を常とす。しかるに、世界の最熱の地たるサハラ、アラビヤ、イラン地方の如きは、年平均、およそ三十度に達し、最高の時は七十三度に上ること少からず。また、最寒の地たるカナダ、シベリヤなどの北部地方の如きは、年平均、氷點以下十六七度に達し、最低の時は七十度以下ることあり。されど、これ等の地方にも、なほ、人類の住するものあるなり。

暴風

季候風の吹く地方には、その交代の時期にあたりて、暴風の起ることあり。わが國において、二百十日の前後に、しばしば、暴風の災害あるは、あたかも、この頃が、季候風交代の時期にあたれるによるなり。



雨

わが國の雨量

雨は、水蒸氣の冷えて、集りて、水滴となり、地上に降るものなり。降雨の量は、海陸の分布、風の方向等により、各地みな、その趣を異にす。多く濕氣を含める風、山岳に出合ふ時は、これがために冷えて、その地方に、多量の雨を降し、これに反して、風陰の地は、通例、天氣快晴なり。わが國にては、夏季、東南季候風ありて、太平洋上より、多量の濕氣を運び來るがゆゑに、夏日、その方面に降雨多きを常とす。これに反して、冬季には、西北季候風の作用によりて、日本海方面に濕氣を運び、北陸地方をして、ことに、雪に名あらしむ。これに加ふるに、梅雨とて、初夏、久しきにわたれる降雨と、秋季、暴風の襲來に伴へる大雨とありて、各地、おほむね、降雨の量に富めり。中につき雨量のことには、多きは、紀伊半島、四國、九州の南部、濃飛高原、北陸の沿



海地方等なり。瀬戸内海附近の如きは、山脈、その前後に連りて、常に、濕風の來るを遮るがゆゑに、年中、割合に、降雨少く、從て、その地、製塩に適す。

かく、氣候は、各地、趣を異にし、その氣象には、種々の變化あれども、その變化は、みな、それぞれ、一定の理由ありて、然るものにして、決して、偶然に起るものにあらざるなり。されば、文明國には、たいてい、氣象臺、測候所などを設けて、日々、その變化を觀測し、廣く、各地の氣象を合せ考へて、天氣を豫報し、暴風雨襲來などのおそれある時は、あらかじめ、警報を發して、これを戒むるなり。わが國は、全國を十氣象區に分ちて、各地に、測候所を置き、さらに、中央氣象臺を東京に設けて、これを統べしむ。

氣象の觀測

第七 生物

生物の分布  
熱帯地方の  
生物

生物は、地球上いたる所に分布すれども、土地の情況によりて、各地、その趣を異にするものあり。熱帯地方は、おほむね、氣温高く、濕氣多くして、植物よく生育し、椰子樹、芭蕉、榕樹等、ことに繁茂し、羊齒の如きは、その幹のびて、喬木に類するものあるに至る。また、美味なる果實多くして、耕作の道を知らざる野蠻人の、これによりて、その生を保つもの少からざるなり。動物には、象、犀、獅子、駝鳥、鱈魚等、巨大なるもの、猛惡なるもの、はなはだ多し。これに反して、寒帯地方は、おほむね、氣温低く、濕氣乏しくして、生物の發育よろしからず、極地に近づくと、從ひて、しだいに、その種類を減じ、つひに、植物は、短小なる

寒帯地方の  
生物

温帯地方の生物

土地の高低と生物の分布

灌木、苔類等に限られ、また、稀に、白熊、馴鹿、海豹等の動物を、氷海、雪野に見るに過ぎざるに至る。温帯地方の生物は、熱帯地方におけるが如き巨大のもの少けれども、その種類はなほだ多し。植物には、松、杉、檜、樅等の森林に富み、花の賞すべきもの、實の味ふべきもの、いづれも、その種類に乏しからず。動物には、もともとも有用なるもの多く、牛、馬、羊、豚等は、いづれも、家畜として、盛に飼養せらる。かく、熱地より、寒地にいたるまで、生物の分布は、おほむね、その地の氣候によりて、おのづから定まれり。これと同様の事實は、また、低地より、高地に進むに従ひて存す。麓より頂上に登るに従ひて、植物の種類に變化あることは、高山に登りたる人々の、常に見るところなり。

各大陸特有の動物



- 一 こんどる鳥
- 二 白熊
- 三 海豹
- 四 あるばか
- 五 馴鹿
- 六 びらま
- 七 じがが
- 八 海狸
- 九 えみ

されど、さらに、こまかに、これを観察すると、きは、同じ氣候を有する地方の生物、必ずし

も、一様ならず、動物は、海洋のために、その移住を制限せられて、各大陸に特有なるもの多し。アジヤ、アフリカに産する象、駱駝、獅子、虎、犀等は、新世界に見る能はず。アメリカの、びーま、じがー、あるばか、海狸、こんどる鳥等は、他の大陸に見る能はず。オーストラリアのかんがる、鴨嘴獸、えみー等は、また、これを他



各大陸特有の植物

に見出す能はざるなり。

植物には、アフリカのばおば樹、オーストラリアのゆかり樹など、各地特有のものとして、ことに著しきものなりとす。植物は、その種子の傳播に、種々の途あれども、氣候の制限を受くることは、動物に比して、さらに多きものなり。されば植物は、各地寒熱の差あるに従ひて、その種類、大小を異にする。ことすこぶる著しきを常とす。

わが國の植物

わが國は、その大部、北温帯に位し、地味肥沃にして、植物よく發育し、古來、わが國人の主要食品たる米穀を始として、各種の穀物、よくみのり、つとに、瑞穂國の稱あり。ことに、その地勢、細長くして、變化に富み、温暖の氣候なるが中にも、南北おのづから、その趣を異にし、植物の種類に富めり。南部には、榕樹

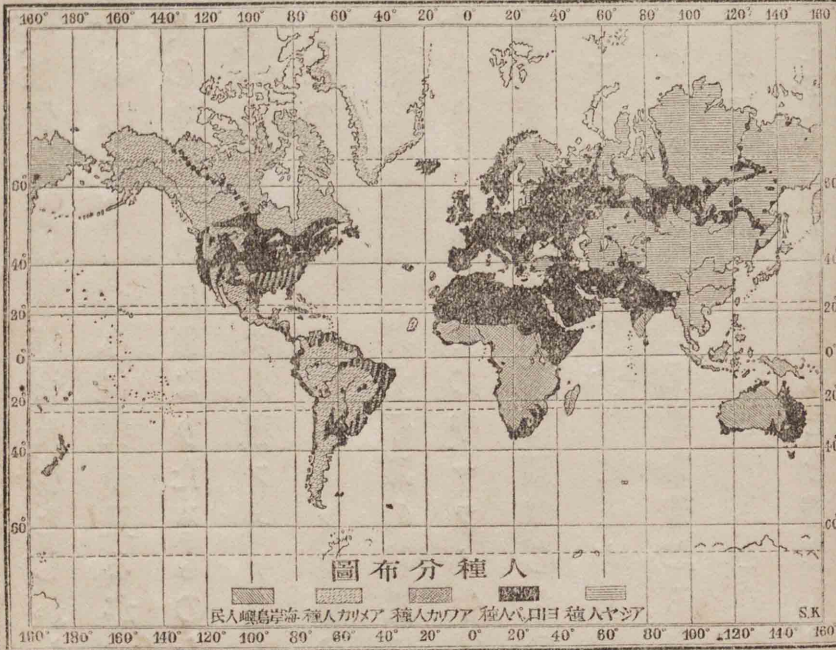
物が國の動

蘇鐵、芭蕉、あなす等、熱帶性のものを生じ、一般に、樹木、よく繁茂せり。ことに、臺灣には、森林多く、その樟の林の如きは、世界、稀に見る所なり。中部にも、また、森林多く、松、杉、檜等を始として、各種の有用植物、よく生育す。中にも、松は、いたる所において、風景の美を添ふること、また、少からず。最北の地方、なほ、えぞまつ、とどまつ等の森林多し。動物は、その分布の状、明らかざれども、臺灣の水牛、琉球のはぶ、小笠原島の海亀、北海道本島の熊、千島の臘肭獸、獵虎等は、南北兩部によりて、その種類を異にするものなり。また、わが近海には、寒暖二流の來るありて、はなはだ、魚類の種類に富めり。

第八 人種、人口附言語

人類

世界の人口



第八 人種、人口附言語

三十五

人類は、他の動物と異にして、知識に富み、よく、天然の障礙に勝ち、各種の氣候に堪へて、廣く、各地に分布したり。されば、今や、地球上、無人の境と稱すべき所、ほとんど稀にして、人類の數、およそ十六億に達せんとす。されど、各地、氣候、食物等を異にし、生活の状態、おのづから、その差あり、容貌體

人種

格、性質、言語、風俗等、また、ひとしからず、子孫ながく、その特徴をあひつぎて、つひに、現今、見るが如き、數多の種族をなせり。その中、たがひに似よりたるものを合せて、アジヤ人種、ヨーロッパ人種、アフリカ人種、アメリカ人種の四人種を得たり。殘餘の諸種族は、オーストラリヤの内地、印度の南部、マライ半島、その他、印度洋、太平洋の諸島に住し、いづれも、特徴の認むべきもの少し。その中、マライ半島、マライ群島等に住する種族、ならびに、それ等に類似のものをマライ人種と稱することもあり。その皮膚、おほむね、褐色を帶ぶるがゆゑに、また、褐色人種といふ。この種族と、その他の諸種族とを總稱して、

マライ人種



(人マヤ)種人イラマ

海岸島嶼人民

海岸島嶼人民と稱す。

アジヤ人種

世界人類の大多數は、アジヤ、ヨーロッパの二人種に屬す。この二人種は、いづれも、優等なるものなり。アジヤ人種は、おほむね、その皮膚黄色を帶ぶるがゆゑに、一に、黄色人種と稱し、人口五億に及ぶ。アジヤをそのおもなる



(人那支)種人ヤジア

住所となし、ヨーロッパの東部、北部の、ある地方にも住す。その、支那地方の住民の如きは、四五千年前、すでに、文明の域に進み、東洋において、特殊の發達をなせり。

ヨーロッパ人種

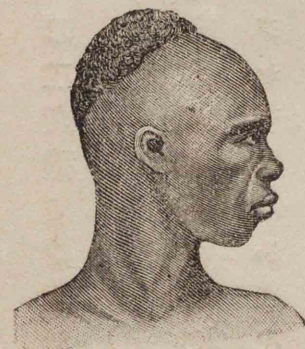
ヨーロッパ人種は、その皮膚白色なるを常とするがゆゑに、一に、白色人種の名あり。もと、ヨーロッパより、アジヤの西南部、ア

種 アフリカ人



(人スリギイ)種人バロロヨ

フリカの北部をおもなる住所となせり。その印度、メソポタミヤ、エジプト等にありては、三四千年前、すでに、すこぶる開け、ギリシヤ、ローマ等の古文明國、また、これにつぎて起れり。多數のヨーロッパ人は、その開化割合に遅かりしかども、近世、大いに發達して、アメリカ、オーストラリヤ、その他、アフリカの南部等に移住したるもの、また多く、その數、總計八億に達す。



(人土カリファ)種人カリファ

アフリカ人種は、その皮膚黒色なるを常とし、黒色人種の名あり。アフリカの中部をおもなる住所となし、その數、お

種 アメリカ人



(人土カリメア)種人カリメア

よそ、一億五千萬ありといふ。今、なほ、多くは、野蠻の域にあれども、移されてアメリカにあるものは、文明の教育を受けて、その知識、すこぶる進みたり。

アメリカ人種は、その皮膚、おほむね銅色なり、よつて、銅色人種ともいふ。南北アメリカの土人にして、もと、廣く、その地に住したりしが、ヨーロッパ人の移住以來、大いに、住所を狭められ、あるひは、雜種を生ずるに至りたり。その數、千七百萬に過ぎず。

種 わが國民の種族

わが日本人はアジヤ人種の中なり。その大部分は、すなはち、太古以來一貫せる日本種族にして、上に、萬世一系の天皇を戴き、忠孝義勇の精神に富み、上下、よく一致して、國の隆盛を

あいにぬ人  
臺灣の漢人  
蕃人

なせり。また、かつて、他より歸化服屬せし人民の如きも、みなこれに同化して、ともに、善良なる國民となれり。この外に、北海道に住するあいにぬ人、臺灣に住する漢人、蕃人などあれども、日本種族の美風、にならひて、また、しだいに、これに同化すべきなり。

わが國の人口  
わが國人口  
の密度

わが國の人口は、合計五千萬に近く、世界人口の、およそ三十分の一にあたる。その一方里の平均人口は、千八百人の割合にして、世界の平均人口に比して、およそ十一倍に達し、世界中、ベルギー、オランダ、イギリスの外は、一も、わが國の割合に及ぶものあらざるなり。

わが國人口  
の疎密

わが國の中にも、關東地方、濃尾平野、山城、大和、大坂等の諸平野、瀬戸内海附近、九州の北部、臺灣の西部等は、人口、ことに密なる所なり。これに反して、本州の日本海方面、奥羽、その他、四國、九州の南部には、人口少く、北海道と臺灣の東部とには、ことに疎なり。

世界人口の  
疎密

さらに、世界人口の疎密を見るに、清國東部の平原、印度のガング河平原、ヨーロッパの諸國等は、一般に、住民密にして、南北アメリカには、おほむね、はなはだ少く、アジヤの北部、オーストラリアの如きは、ことに疎なりとす。

各國の人口

世界の諸國の中につきて、人口の、もとも多きは、清國にして、その數四億に達し、ロシヤは、これにつぎて、一億三千萬に近し。また、ドイツ、イギリス、フランス等の各本國は、みな、わが國と大差なく、アメリカ合衆國には、ほとんど八千萬の住民あり。

言語

國語

世界の人類に種々の別あるが如く、その使用する言語にも、また、おのづから種々の別あり。また、同じ種類の言語も、人類が種々の國に分れ屬するに従ひて、種々の國語に分るゝなり。されど、その中には、オーストリア、ハンガリーの如く、一國中に十數種の言語並び行はるゝが如きもあり。これに反して、イギリス語、フランス語、ドイツ語、イスパニヤ語の如く、ひとり、自國にのみならず、廣く、他國にまで使用せらるゝが如きものもあり。

イギリス語

フランス語

イギリス語は、イギリス本國の外、アメリカ合衆國、その他、イギリス領の各地方に行はれ、また、世界商業上の用語として、ますます、その使用の範圍を廣むるの傾あり。フランス語は、フランス本國の外、ベルギー、スイスにも行はれ、ことに、西洋

ドイツ語

イスパニヤ語

諸國における上流社會の交際上、また、世界各國の外交上の用語として、多く用ひられ、ドイツ語は、オーストリア、スイスにも行はるゝなり。また、イスパニヤ語は、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカの大部分等、すなはち、イスパニヤ國が、むかし、盛なりし時、その殖民地たりし地方にも、今、なほ、廣く行はるれども、やうやく衰へつゝあるが如し。國盛なれば、その國語は、おほむね、廣く用ひられ、國衰ふれば、その國語は、また、從て衰ふるを常とす。

政體

### 第九 政治附兵備

世界の獨立國には、定まりたる君主を戴ける君主國と、人民より選ばれたる大統領を戴ける共和國とあり。また、憲法の



定むるところに従ひて政治をなす立憲國あり、君主の意志のまゝに政治をなす專制國もあるなり。わが國を始として、イギリス、オーストリア、ハンガリー、イタリア等は、立憲君主國にして、清、ロシア、トルコ等は專制君主國なり。また、フランス、スイス、アメリカ合衆國等の諸國は、いづれもみな、共和國なり。

わが國の政體

わが國には、今上天皇陛下、ふかく、國體のよりて來る所に、かゝるがみたまひ、國民の幸福を増進し、國家の進運を扶持したまはんとの大御心より、明治二十二年、紀元節の日をもつて、帝國憲法を發布したまひき。かくて、その翌二十三年、帝國議會を召集したまひしより、わが國は、東洋唯一の立憲國となり、人民も、また、政治に參與するを得るに至れり。これより、法律は、帝國議會の協賛によりて、これを制定し、行政の事務は、すべて、法令の範圍内において、行政官廳これを行ひ、訴訟の事件は、法律によりて組織せられたる裁判所において、これを裁判することゝなれり。

帝國議會

帝國議會は、貴族院、衆議院の二つより成る。貴族院の議員は、(一)皇族、(二)公、侯、爵、(三)伯、子、男、爵、中より互選せられたるもの、(四)國家に勳勞あり、または、學識あるものより特に勅任せられたるもの、(五)各府縣の多額納稅者中より互選して、勅任せられたるものゝ五種より成る。その數、およそ三百人あり。衆議院の議員は、一定の選舉資格を有する人民によりて公選せられたるものにして、その數、三百七十餘人あり。

行政官廳  
中央政府

行政官廳には、中央に、内閣の外、外務、内務、大藏、陸軍、海軍、司法、

文部、農商務、逓信の三省ありて、全國行政の事を分擔す。各省の長官を大臣といふ。各大臣は、國務大臣として、内閣に列し、内閣總理大臣、その首班となりて、各省の統一をはかる。地方は、北海道と臺灣との外を、三府、四十三縣に分ち、府縣に府縣知事を置き、各省大臣の指揮、監督を受けて、管下の行政事務を行はしむ。府縣は、さらに、これを分ちて、郡および市となし、郡は、さらに、これを分ちて、町村となす。すべて、およそ五百五十郡、五十七市、一千町、一萬三千村あり。郡、市に郡長、市長あり、町村に町村長ありて、おのゝ管内の政務を行ふ。北海道と臺灣とは、他の地方と同一の施政をなし難き事情ありて、ことに、道廳、總督府を置き、おのゝ管内の政務を行はしむ。道廳の下に十八支廳あり、總督府の下に二十廳あり。

北海道廳  
臺灣總督府

府縣

郡市町村

裁判所には、大審院、控訴院、地方裁判所、區裁判所の四階級あり。大審院は一箇所にして、東京にあり。控訴院は東京、名古屋、大坂、廣島、長崎、仙臺、函館の七箇所にあり。地方裁判所は、各府縣廳の所在地と、北海道の函館、札幌、根室とにあり。區裁判所は、全國を通じて、その數、およそ三百あり。下級裁判所の判決に服せざるものは、上級の裁判所に訴へ出づることを得べし。これ等の外、臺灣には、別に臺灣總督府法院あり、また、陸海軍人のためには、各軍法會議あり。行政官廳の外、また、樞密院、宮内省、會計検査院などあり。樞密院は、天皇最高の顧問府にして、重要な國務を下問したまふ所なり。また、宮内省は、皇室に關する事務を掌り、會計検査院は、政府の會計を監督す。

裁判所

大審院

控訴院

地方裁判所

區裁判所

特殊の裁判所

樞密院

宮内省  
會計検査院

兵備

兵備は、國家を護衛し、國威を發揚するに缺くべからざるものなれば、世界のおもなる諸國はいづれも、力を盡して、兵制を革新し、意を軍器の改良に用ひざるはなし。

西洋諸強國の兵備

現今、陸軍常備兵のもとも、多きは、ロシヤにして、その數、およそ、百十萬ありといふ。また、ドイツには六十萬の兵員ありて、精銳なりと稱せられ、フランス、オーストリア、ハンガリー、イタリヤ、イギリス等の諸國は、兵數において、順次、これにつぐ海軍のもとも、優勢なるは、イギリスにして、軍艦總計百九十萬噸に達し、世界無比と稱せらる。フランスには八十萬噸、ロシヤには六十四萬噸あり。ドイツ、イタリヤ、アメリカ合衆國等の諸國は、順次、これにつぐ。されども、とより、兵員、軍艦の多少のみによりて、ただちに、兵力の優劣を定め難し。その國の

わが國の兵備

位置、その護るべき土地の廣狹等は、みな、兵備を要するの多少に關係し、ことに、兵力の強弱は、軍人の元氣如何に關すること、も、とも、多きものなり。

わが國は、もと、軍人の階級定まり、家柄によりて、その職を世世に傳へしが、維新後、徵兵の制を設け、一般に、全國民中より、これを採用することゝなれり。その兵備は、明治二十七八年戰役後、大いに、擴張せられて、今や、陸軍十三師團の多きに及び、軍艦、また、二十五萬噸以上に達して、世界強國の中に列するに至れり。

わが國の兵役

帝國臣民にして男子たるものは、滿十七歳より四十歳まで、ことごとく、兵役に服すべき義務あり。不具、癡疾のものゝ外は、これを免ぜらるゝことなし。

兵役の種類

その兵役には、常備、後備、補充、國民の別あり。常備兵役は、さらにこれを現役と豫備役に分つ。男子二十歳に達すれば、その身體を検査し、體格、藝能、職業等によりて、陸軍にありては、これを歩兵、騎兵、砲兵、工兵、輜重兵等に分ち、海軍にありては、これを水兵、火夫等に分つ。海軍は、沿海地方、または、島嶼の人民中より、これに適するものを徴するなり。かくて、その検査の成績と、抽籤の結果とによりて、これを現役、補充兵役、國民兵役の三種に分つ。現役の選に當れるものは、一定の年限の間、もばら、軍事教育を受けて、國防の任務に服す。現役の年限を終へたるものは、豫備役に編入せられ、在郷して、その役に服す。豫備役を終へたるものは、さらに、後備兵役に服し、後備兵役を終へたるものは、さらに、國民兵役に編入せらるゝなり。

陸軍の兵種  
海軍の兵種

現役

豫備役

後備兵役

國民兵役

補充兵役

志願兵

陸軍の配置

海軍の配置

り。補充兵役の選に當りたるものは、その種類によりて、短期間、軍事教育を受くるものあり、平常は、在郷して、その役に服し、一定の年限を終ふれば、國民兵役に編入せらるゝなり。また、人民は、その志願によりて、陸海軍の現役に服することを  
得。  
陸軍の配置は、全國を十二師管に分ち、各師管に師團あり。別に、近衛師團ありて、宮闕の守衛に任ず。海軍は、全國の海岸と海面とを四海軍區に分ち、各區に軍港あり、鎮守府を設けて、これを管せしむ。また、要害の地には、要塞砲兵警備隊あり。臺灣には、混成旅團を派遣して、陸上の守備に任ず。

第十 教育 宗教

教育

教育は、人の知徳を増進し、その品位を高尙ならしむるものなれば、國民の教育の有無は、ひいて、國家の盛衰に關するところ、きはめて大なり。されば、世界の強國といひ、文明國と稱するもの、みな、力を、これにつくさざるはなし。中にも、ドイツ、イギリス、フランス、アメリカ合衆國等は、いづれも、教育はなはだ盛なり。

わが國の教育

小學校

わが國の普通教育は、徳川時代にありては、わづかに、寺子屋にて、讀書、習字等を教へしに過ぎざりき。しかるに、維新後、大いに、その普及に力を用ひ、今や、全國に、二萬七千の小學校ありて、國民に必要な教育を授くることゝなれり。その施設、よく整ひたれば、山間僻地の兒童も、みな、時勢の進歩に伴ひて、普通の事理を解せざるものなきに至れり。

實業補習學校

各種の實業學校  
高等の諸學校

その他の諸種  
の學校

小學校の業を卒へたるものをして、簡易なる方法によりて、その職業に要する知識、技能を得しめ、かねて、普通教育の補習をなさしめんがためには、實業補習學校の設あり。さらに進みて、實業に關する高き教育を受けんとするものゝためには、農業、商業、工業等、また、それぞれ、その職業に應じて、實業學校の設あり。別に、中學校、高等女學校ありて、高等なる普通教育を授け、さらに、各種の専門學校、高等學校、帝國大學等ありて、高等なる教育を授く。また、教員養成のためには、高等師範學校、師範學校等あり。華族の教育には、學習院、華族女學校あり。この外、陸海軍將校の養成、船員の養成、盲啞の教育等に至るまで、各種の教育機關の施設、日に、ますます進みつゝあるなり。

宗教

世界に行はるゝ宗教には、種々あれども、そのおもなるものは、佛教、キリスト教、マホメト教等にして、いづれも、もと、アジヤの一地方に起れり。

佛教

佛教は、今より、二千四百餘年前に、印度に起りし宗教にして、廣く、東洋の諸國に行はれ、わが國を始として、清國、印度支那等に、多數の信徒を有す。その數四億に餘れり。

キリスト教

キリスト教は、今より、およそ千九百年前に、シリヤに起りし宗教にして、ヨーロッパ人種に屬するもの、主として、これを信ず。現今、ヨーロッパ、アメリカを始として、世界の各地に信徒を有し、その數五億に餘れり。

マホメト教

マホメト教は、その起原も、とも新しく、今より、およそ千三百年前に、アラビヤに、起れり。そのはじめ、兵力によりて布教し、

その他の諸宗教

一時、はなはだ盛なりしかば、今、なほ、アジヤの中部、西南部より、アフリカの北部に及びて、二億に餘れる信徒を有す。その外、印度に印度教あり、信徒の數二億に餘れども、單に、この地方にのみ行はれて、古來、他に及ばず。また、ヨーロッパ、アメリカ等の、各地に散布せるユダヤ人のユダヤ教、ヘルシヤ地方に行はるゝ拜火教、アフリカの土人間に多く行はるゝ拜物教などあれども、ほとんど、數ふるに足らず。

敬神の國風

わが國には、古來、皇室の御先祖を始め奉り、氏族各自の先祖、その他、國家に功勞ありし人々等を、神として祭り、ながく、その徳に報い、これを崇敬するの風あり。伊勢神宮は天照大神を祭り奉る。神社には、官幣社、國幣社、府縣社、郷社、村社、無格社ありて、その數、十九萬に餘れり。

わが國の宗教

わが國の宗教には、神道、佛教、キリスト教あり。神道は神祇の信仰に基きて起れる宗教にして、十餘派の別あり。佛教には、天台宗、眞言宗、淨土宗、臨濟宗、曹洞宗、眞宗、日蓮宗等の十餘宗ありて、これに屬する寺院七萬餘の多きに及べり。キリスト教は、三百五十餘年前に、すでに、その一派、わが國に傳はりて、一時、すこぶる行はれたりしが、後に、禁ずるところとなれり。維新後、ふたゝび、行はるゝに至りたれども、信徒の數、なほ多からず。

第十一 産業

人類未開の時代において、生活はなほだ簡易にして、衣食住に要するものは、ほとんど、その地方の天然物に仰ぐの有り

自然と産業

様なれば、産業と稱すべきほどのものなし。されど、文明の進むに従ひて、生活に要するもの、ますます多きを加へ、つひに種々の産業起るに至る。産業には、その種類多けれども、中にも、地理自然の状態に基き、文明の知識を應用して、利益ある方面に、天然の長所を利用するもの、も、ともよく發達す。肥沃なる平野に農業行はれ、有用礦物の所在地に鑛山業起り、原料と動力とを得るに便利なる地が、工業地として繁榮し、湖海に沿ひたる地方に、水産業の利を求むるが如き、みなこれなり。

農業

米

農業は、世界中、も、とも廣く行はるれども、各地、また、おのづから、その産物の種類、性質を異にす。米、茶、綿、こゝひの如きは、よく、暖地、熱地に適し、中にも、米は、アジャの東南部より南部

綿茶

こーひー

麥

砂糖

わが國の農業

米

麥

の地方に多く産出すれども、その品質に至りては、わが國産を第一とす。茶は支那、印度等に多く、綿は印度、アメリカ合衆國の産、もともあらはれ、こーひーは、ブラジル、中央アメリカ、アラビヤ等の熱地に多し。また、麥は、アメリカ合衆國、フランス、ロシア等の如く、温暖なる地方より、寒冷なる地方にわたりにて、多く産す。砂糖には、ドイツ、オーストリア、ハンガリー等の温地に産する甜菜糖と、ジャバ、キーバ等の熱地に多き甘蔗糖とあり。

わが國は、古來、農をもて國の本としたれば、農民の數はなはだ多く、種々の農産物に富めり。そのおもなるは、米、麥、茶等なり。米は新潟、兵庫、愛知、福岡、千葉等の諸縣にことに多く、その産額、全國を通じて、およそ四千萬石に達す。麥の産額は、およそ

茶

牧畜業

そ、その半にして、埼玉、茨城、熊本、愛知等の諸縣には、なはだ多し。茶は、輸出品中、重要なるものゝ一にして、静岡縣にも、とても多く産すれども、内地向としては、宇治茶、ことに、品質の良きをもて、名高し。臺灣の北部地方にも、また、多く茶を産す。牧畜業は、もっぱら、廣き草野の地方に行はる。アメリカ合衆國、ロシア、ドイツ等には、多く、牛馬を牧し、オーストラリア、アルゼンチン等の羊毛は、ことに有名なり。わが國は、廣き草野に乏しく、かつ、古來の習慣によりて、毛織物の製造の盛ならず。と、肉食の多く行はれざるとによりて、牧畜の業、いまだ、盛なるに至らず。全國を通じて、牛は、その數、やうやく、百二十萬頭に達し、馬は、百五十萬頭に及べるのみ。中にも、牛は、中國地方に多く、馬は、九州の南部と奥羽の東部に多し。



養蠶業

養蠶業は支那、イタリヤ、フランス等の諸國、いづれも盛なり。わが國は、また古來、その業、廣く行はれ、現今、繭の産額、全國を通じて二百萬石、價額、およそ一億圓に達せり。中にも、長野、群馬、福島、の諸縣等、東山道の地方には、ことに盛に行はる。

鑛山業  
鐵 石炭

有用鑛物には、金、銀、銅、鐵、石炭等、各種あれども、中にも、鐵、石炭は、もとも、實用に適し、アメリカ合衆國、イギリス、ドイツ、フランス、ベルギー等、みな多く、これを産す。また、オーストラリヤの東部、アフリカの南部等には、金多く、メキシコの銀、イスパニヤ、チリの銅は、いづれも、その産額の多きをもて、名高し。されど、金、銀、銅を通じて、その産額の、いづれも、もとも多きは、アメリカ合衆國なり。また、この國は、ロシヤとも、石油の産の、ことに多きをもて、あらはる。

銀 銅

石油

わが國の鑛産

銅

石炭

金

鐵 銀

石油

水産業

わが國の鑛産は、いまだ、多しと稱するに足らざれども、各種の鑛物、たいてい備はり、中にも、銅と石炭とは、産額、すこぶる豊にして、現今、わが國の需用を充して、なほ、餘あり。銅は、足尾、別子、阿仁等の諸鑛山にも、もとも多く、その産額、全國を通じて、およそ七百萬貫あり。石炭は、福岡、佐賀等、九州北部の諸縣と北海道とにも、もとも多くして、全國の産額、六百三十萬噸に及ぶ。また、金は、鹿兒島縣の諸鑛山、佐渡の金山等に多く、北海道は、砂金の産に富み、銀は、秋田、岐阜等の諸縣に多し。また、鐵は、釜石の近傍に多く、新潟縣には、石油の産地に富みて、近時、いづれも、その採掘の業、大いに進みたれども、その産額、いまだ、内國の需用を充すに足らざるなり。水産業は、世界沿海の地、いづれも、多少行はれざるはなし。中

工業

綿糸織物

にも、ニールフ、ウンドランド、ノルウェーの近海と、わが北海道の近海とは、ともに、世界の三大漁場と稱せらる。ことに、わが國は、四方に海をめぐらし、寒暖二流を受けて、水産の利はなほだ大なり。そのも、とも多きは北海道にして、千葉、静岡、山口、長崎等の諸縣これにつき、鯉、鱒、鯛、鮭、鰯、節、石花菜、昆布等、その産額、いづれも多し。また、瀬戸内海の沿海地方は、各地製塩業盛にして、赤穂、三田尻等、その名も、ともあらはる。各種の工業は文明の諸國、いづれも競ひて、これが隆盛をはかりつゝあり。中にも、イギリスは第一の地位を占め、ドイツ、また、近年、大いに隆盛に赴けり、スイスの如きは、山間の小國なれども、なほ、工業國として、その名、世にあらはる。各種の製作品中、綿糸織物は、イギリス、アメリカ合衆國、ドイツ、フラン

鐵の製品

びいる葡萄酒

わが國の工業

生糸

ス等の諸國、いづれも、多くこれを産し、ことに、フランスは絹織物に名高し。また、鐵の製品は、これ等の諸國ならびに、ベルギーに多く、ドイツのびいる、フランスの葡萄酒は、いづれもその産額の多きと、品質の良きとをもて知らる。わが國は、古來、美術的工藝、すこぶる進歩し、織物、漆器、陶器等、いづれも、精巧なる製品を出せり。これに加ふるに、近來、西洋より種々の器械を輸入し、大規模の工場を設けて、いたる所に煙突の高く立てるを見るに至り、各種の工業、年を逐ひて、盛大に赴けり。製作品のおもなるものには、生糸、綿糸、各種の織物、陶器、漆器、紙、酒、ま、ち、疊表等あり。生糸は、長野、群馬、福島、埼玉等の諸縣に多く、中にも、諏訪の地方には、その製造も、とも盛なり。その産額は、全國を通じて、毎

綿絲  
織物

年、およそ百七十萬貫に及び、輸出品中の第一位を占む。また、綿糸は、大坂、東京、岡山、神戸、名古屋等の地方に、いづれも、盛なる紡績工場ありて、全國の製品、合計、三千萬貫に餘れり。絹織には、京都の西陣織、福井の羽二重、その他、桐生、足利の製品等、も、とも著しく、全國産出の價額、七千萬圓の多きに及ぶ。また、木綿織は、各地にこれを産すれども、中にも、愛知縣、大坂府、埼玉縣等に、も、とも多く、全國を通じて、六千萬圓に及べり。

陶器

漆器

紙類

陶器には、瀬戸焼、美濃焼、有田焼、京焼、九谷焼等、いづれも、その産額多く、漆器には、黒江塗、京塗を始として、静岡、石川等の諸縣の産額、いづれも著し。また、紙類は、高知、岐阜、愛媛等の諸縣に、も、とも多くして、土佐紙、美濃紙、伊豫奉書等、名高く、西洋紙は、東京府、静岡縣等に、盛なる工場あれども、なほ供給を外國

酒類

まっち

疊表類

鐵工業

に仰ぐこと、はなはだ多し。酒類には、灘の清酒、も、とも名高く、全國の産額、四百萬石以上に達し、東京、大坂、札幌等の地方には、盛なるびゝるの工場あり。また、まっちの工場は、神戸、名古屋、大坂等の地方に、も、とも多く、疊表、花筵の類は、大分、廣島、岡山、福岡等の諸縣に、も、とも多し。

この外、造兵、造船等、各種の鐵工業、また、しだいに進歩し、所々に、大いなる造船所、鐵工所等の設立を見るに至れり。

商業の發達

### 第十二 商業

商業は、有無あひ通じ、需用供給の媒介をなすものなれば、世の文明に進み、分業の發達するに従ひて、しだいに、隆盛に赴くべきものなり。ことに、近世、交通機關、大いに發達し、遠隔の

わが國の商業

地も、容易に往來するを得るに至りたれば、文明國たがひに、修好通商等の條約を結びて、廣く、外國貿易に力をつくし、その業、著しく發達したり。外國貿易のもとも盛なるはイギリスにして、毎年、輸出入額、およそ八十億圓あり。これにつぐをドイツ、アメリカ合衆國、フランス等となす。オランダは小國なれども、商業、ことに盛にして、輸出入額、毎年、三十億圓以上に達し、ベルギーの如きも、なほ、十五億圓に達せんとす。

わが國は、古來、商人の社會における地位は、なほ、低く、從て、商業盛ならざりき。ことに、徳川時代には、久しく、鎖國の方針を取りて、國人の海外に出づるを禁じ、外國人も、わづかに、オランダ人、支那人に限りて、長崎に來り貿易するを許したるに過ぎざりしかば、外國貿易は、見るべきもの少かりき。しか

わが國の條約國

公使館

るに、維新前後より、廣く、海外諸國と條約を結び、交通の機關も、また、しだいに整ひしかば、外國貿易、内國商業、ともに、その面目を改め、商業家の社會における地位、また、高まるに至れり。

現今、わが國と條約を結べる諸國は、すべて、二十三國あり。アジア洲には、韓、清、シムムの三國、北アメリカ洲には、アメリカ合衆國、メキシコの二國、南アメリカ洲には、ペルー、ブラジル、アルゼンチンの三國、アフリカ洲には、コンゴ獨立國あり。ヨーロッパ洲の諸國は、たいいてい、文明の域に進みて、商業、おほむね盛なれば、トルコと、バルカン半島北部の諸小國との外、おもなる諸國は、いづれも、みな、わが條約國なり。これ等の條約國には、たいいてい、その首府に公使館を置き、また、ことに、わが國

領事館

と關係深き要地に、領事館を置けり。現今、その數、公使館十五、領事館およそ七十あり。公使、領事を派遣して、修好、通商等に關する、事務にあたらしめ、兼ねて、在留本邦人の保護をなさしむ。また、國內にては、横濱、神戸の二港を始として、大坂、長崎、門司、淡水、下關、函館、口津、安平、基隆等の四十餘港を開きて、貿易場となし、今や、輸出入總計、年額、およそ六億圓に達す。中にも、横濱、神戸の二港は、もとも盛にして、輸出入總額の、ほとんど八割は、みな、この二港を經由するなり。従つて、その市街繁榮にして、開港後、いまだ、四十年内外に過ぎざれども、今や、いづれも、三十萬内外の人口を有し、三大市につげる大都會となりたり。

開港場

輸出入額

輸出品

輸出品のおもなるものは、その總價額、およそ七千萬圓に達

輸入品

する生糸を第一とし、羽二重、綿糸、石炭、銅、ま、ち、茶、米等、これにつぐ。輸入品のおもなるものは、およそ六千萬圓の綿を始として、砂糖、各種の鐵製品、石油、米等、これにつぐ。その輸出品は、アメリカ合衆國、香港等に向ふもの、もとも多く、輸入品は、イギリス、アメリカ合衆國、印度、ドイツ、清國等より來るもの、もとも多し。

内國商業の  
二大中心

内國商業は、交通の機關整ふに従ひて、ますます發達し、各地商業の中心たるべき都市は、いづれも、しだいに、繁盛に赴けり。中にも、大坂、東京は、内國商業の二大中心たり。

交通の諸機關

第十三 交通

交通の機關は、土地の情況と文明の程度とによりて、一様な

鐵道

らざれども、そのおもなるものは、汽車、汽船、郵便、電信、電話等なり。

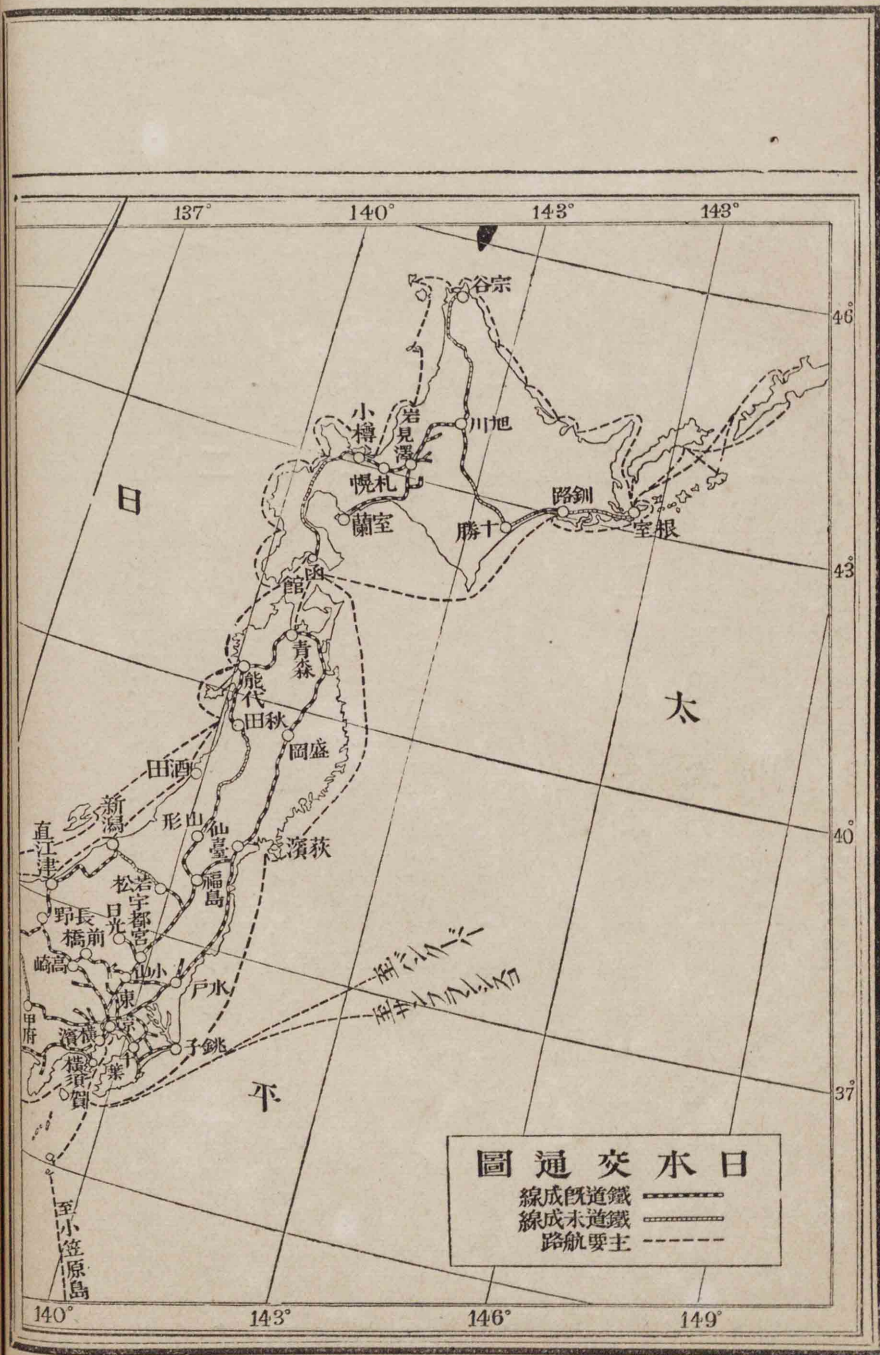
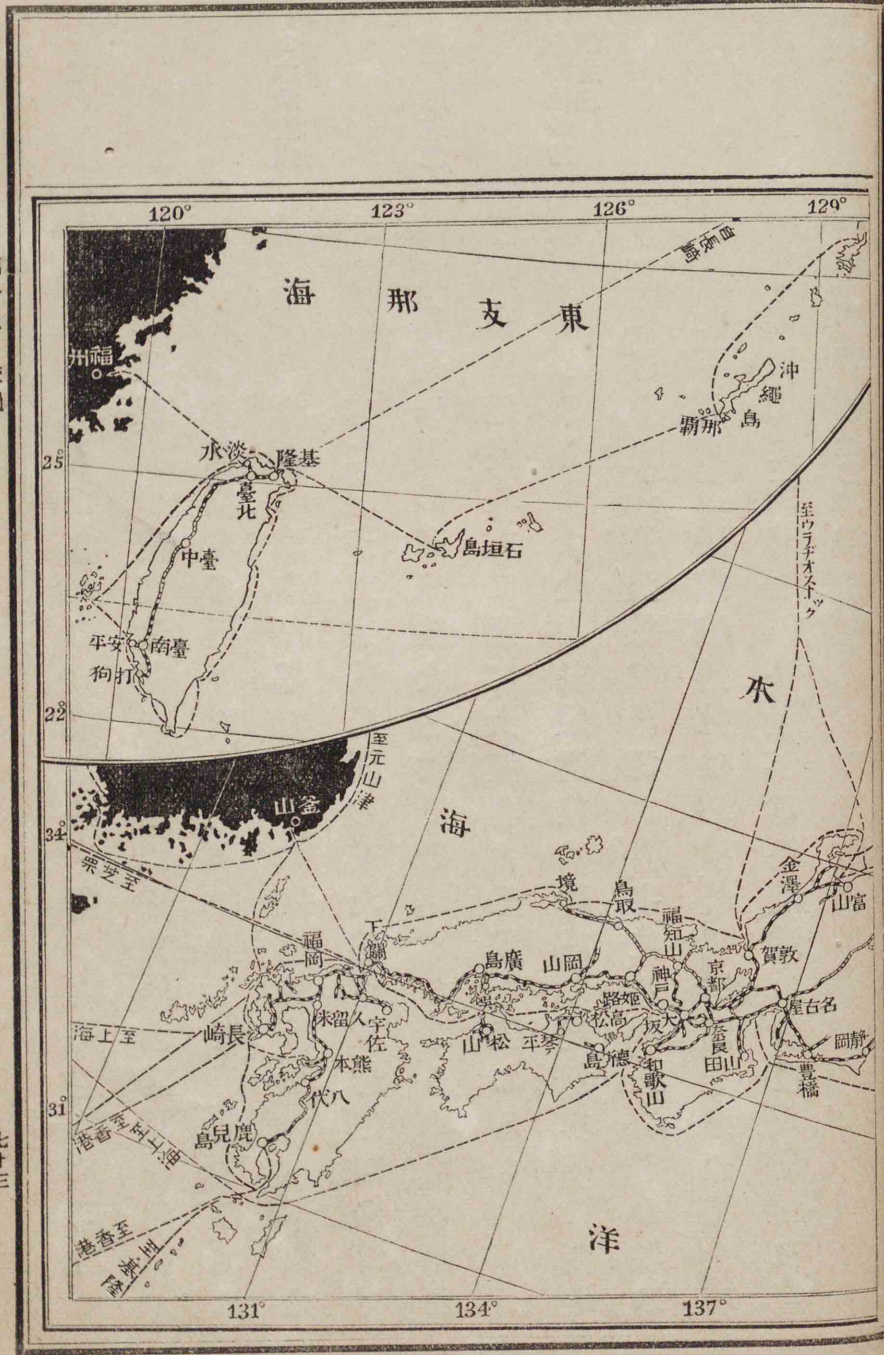
鐵道は、今より七十餘年前始めて、イギリスの一地方に敷設せられしより以來、大いに進歩して、今は、各大陸、その設あらざるなきに至れり。中にも、ヨーロッパの諸國、アメリカ合衆國の東部等には、ことによく發達して、その線路網の如く交れり。また、北アメリカには、太平、大西の兩大洋を連ぬる數條の鐵道あり。シベリヤ鐵道は、東の方、東清線に連り、西の方、ヨーロッパの線路に接續して、アジヤ、ヨーロッパの兩大陸を横ぎれり。世界各國中、線路の延長も、とも長きは、アメリカ合衆國にして、およそ二十萬哩に及び、その、もとも發達したるは、ベルギー、イギリスにして、一方里の面積につき、鐵道一哩以上を

わが國の鐵道

有する割合なり。

わが國の鐵道は、明治五年、東京、横濱間に、敷設せしに始りしかども、明治二十年の頃には、なほ、線路の延長五百哩に過ぎざりき。しかるに、その後、急に進歩して、今や、ほとんど、四千五百哩の長きに達せり。中にも、その幹線たるべきものは、あひ連絡して、九州の南端より、北海道本島の北端にいたらんとす。されど、その便の、ことによく整ひたるは、ただ、關東、濃尾、畿内等の諸平野のみなりとす。これを全國の面積に比すれば、六方里につき、鐵道一哩の割合に敷設せられたり。その線路のおもなるものは、官設線、日本、關西、山陽、九州、北海道炭鑛の五大鐵道會社線等なり。この外、私設にかゝるもの、また、多けれども、いづれも、おほむね、一小地方に限らる。

おもなる諸線路



官設線

官設線のおもなるものは、東京、神戸間の東海道線、米原、富山間の北陸線、高崎、直江津間の信越線、東京、名古屋間を連ねんとする中央線、奥羽の西部なる奥羽線、廣く北海道の各地に通ぜんとする北海道線等なり。日本鐵道線は、もばら、本州東北部の地方に通ず。東京、青森間の東北線、東京、岩沼間の海岸線、東京、高崎間の高崎線などは、そのおもなるものなり。關西鐵道線は、近畿地方に通じ、大坂、名古屋間を連ぬるものをおもなるものとす。また、山陽鐵道線は、神戸に起り、本州の西端下關に終り、九州鐵道線は、門司より、宇佐、八代、長崎等の各地にいたり、北海道炭礦鐵道線は、小樽、札幌、室蘭を連ね、また、石狩の諸炭山に通ず。この外、近年、電氣鐵道の敷設も、所々に起り、短距離の交通機關、しだいに發達せり。

關西鐵道線

その他の諸鐵道線

電氣鐵道

汽船

汽船の發明は、今より、およそ百年前なりしが、その後、航海術の發達と、造船業の進歩とに伴ひ、航路、大いに開け、今や、世界の各港、ほとんど、通ぜざる所なきに至れり。中にも、太平洋を横ぎりて、横濱、上海、香港、シドニー等と、バンクーバー、サンフランシスコ等とを連絡するもの、印度洋を過ぎ、スエズ運河を経て、アジヤの東岸諸港と、ヨーロッパ諸港とを連絡するもの等は、いづれも、世界の、おもなる航路なり。航海業の、もとも盛なるは、イギリスにして、これ等の航路にあつる汽船の、ほとんど半數は、その所有にかゝる。ドイツ、アメリカ合衆國、フランス等、これにつぐ。

わが國の航海業

わが國は、徳川時代に、鎖國の方針を取りて、大船の製造を禁じたる程なりしかば、その、海國たるにかゝはらず、航海業は



きはめて振はざりき。しかるに、外國との交通開けてより、汽船をもつて航海すること、やうやく、盛になれり。その航路は、日本近海より、しだいに、東洋の諸港に及び、今や、遠く、ヨーロッパ、アメリカの諸港にまで延長せり。これ等の航路を通へる汽船は、日本郵船、大坂商船の二大會社の所有にかゝるものをおもなるものとし、横濱と神戸とは、海運の二大中心なり。航路のおもなるものには、この二大中心より、北海道、琉球、臺灣等々にいたるものゝ外、朝鮮、ウラヂオストク、支那、印度、オーストラリア等に通じ、また、遠く、スエズ運河を経て、ヨーロッパにいたるもの、太平洋を横ぎりて、北アメリカのシヤトル、サンフランシスコにいたるもの等あり。全國を通じて、汽船の數、およそ一千艘、六十萬噸に達し、大いに、海運發達の氣運に向

## 郵便

## 電信

へり。この外、また、多數の帆船ありて、常に、航海の業に従事す。されど、なほ、わが輸出入貨物の、およそ三分の二は、イギリス、ドイツ等、諸外國の船舶によりて、運ばれつゝあるなり。郵便は、およそ三十年前、ベルンにおける萬國郵便聯合の同盟成りてより、これに加入する諸國多く、大いに、その便を増せり。わが國には、明治四年、始めて、郵便の制を實施してより、以來、しだいに發達して、いかなる山間僻地にも、通ぜざるなきに至れり。また、明治十年、萬國郵便聯合に加盟してより、廣く、萬國に通ずることゝなれり。電信の發明は、鐵道よりも、少しく後れたれども、今は、各大陸ほとんど、通ぜざる所なきに至れり。海底電信線には、大西洋を横ぎるものを始として、わが長崎より、上海、香港、シンガポ

電話

わが國の電  
信電話

ール等を経て、ヨーロッパに通ずるものなどあり。近時、さらに、サンフランシスコより、フィリピンにいたるものを沈設して、ついに、電信線は、全く、世界を一周するに至れり。また、電話の、世界文明諸國の都市に、盛に使用せらるゝあり。

わが國の電信は、明治二年、始めて、東京、横濱間に架設せしより以來、しだいに發達し、明治十二年には、萬國電信聯合に加盟し、今や、國內の各地はもとより、廣く、海外に通信の便を有することゝなれり。また、主要なる都會には、電話局の設あり。長距離電話も、また、やうやく發達しつゝあり。

### 小學地理四終

小學地理四一

定價金七錢五厘

明治三十六年十一月二十四日印刷  
 明治三十六年十一月二十五日發行  
 明治三十七年一月二十六日翻刻印刷  
 明治三十七年一月二十九日翻刻發行

著作權所有

著作兼  
發行者

文部省

翻刻  
發行者

大橋 新太郎

印刷者

松本 魁

印刷所

會社 東京國文社  
東京市京橋區宗十郎町十五番地

明治三十三年一月廿五日  
文部省檢査濟

東京市日本橋區新右衛門町十六番地

發行所

日本書籍株式會社

広島大学図書

0130449290

